

## 設計課題 「市街地に建つ建築教育普及センター」

### 設計条件

この課題は市街地において、専門家から一般利用者まで幅広い層の人々を対象とし、建築への関心を高めると共に、建築分野の情報発信を目的とした建築教育普及センターを計画するものである。

計画に当たっては、特に次のことが求められている。

建物内部を有機的につなげるアトリウムを設け、部門ごとの活動が相互に感じられる計画とする。

各部門の動線に配慮し、内部空間のにぎわいを感じられるブリッジをアトリウムに設けるものとする

異なる部門を適切にゾーニングし、コミュニティ部門は建物全体の様子が窺える動線計画とする

#### 1. 敷地及び周辺条件

(1)敷地の形状、高低差、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。

北側 市役所があり、市役所前広場に面している。

東側 道路（幅員12m）を挟んで、事務所ビルがある。

南側 道路（幅員12m）を挟んで、商店街がある。

西側 住宅展示場がある。

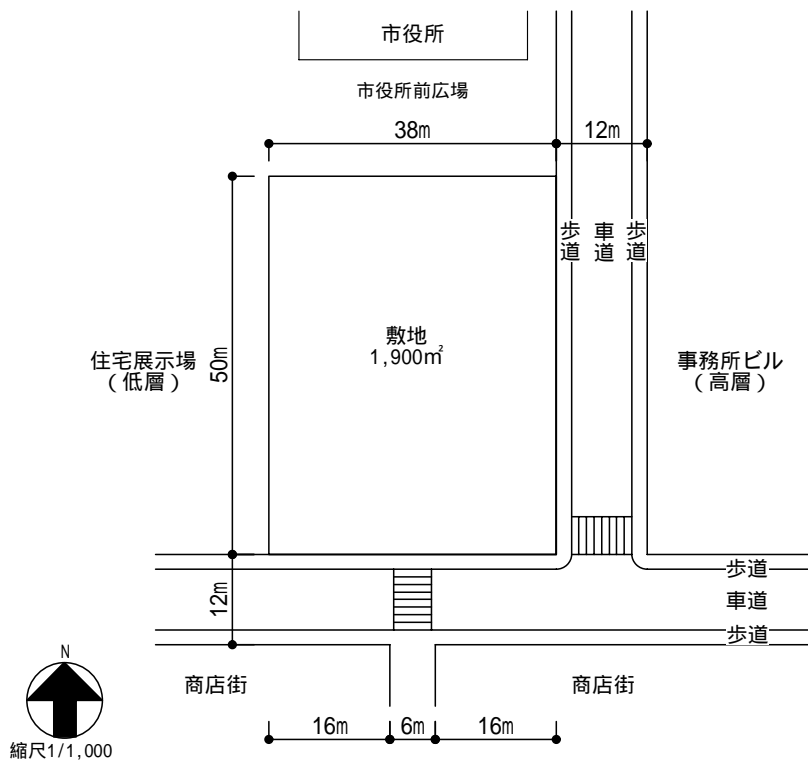
(2)敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所あたり6m程度までできるものとする。

(3)敷地は商業地域および準防火地域に指定されている。また、建蔽率の限度80%、容積率の限度は300%である。なお、日影についての特別な考慮はしなくてよい。

(4)電気・ガス及び上下水道は、完備している。

(5)地盤は良好である。

(6)気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよいものとする。



#### 2. 建築物

(1)鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造としてもよい）、免震構造、地上3階、地下1階建ての1棟建築物とする。

(2)地階を除く床面積の合計は、2,300㎡以上、2,700㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ・塔屋・バルコニー・屋外階段・屋外テラス等は、床面積に算入しないものとする。

(3)主要な階段及びスロープについては、次のとおりとする。

階段は幅を1.4m以上、けあげの寸法を16cm以下、踏面の寸法を30cm以上とする。スロープ、幅を1.5m以上、勾配を1/12以下とする。

(4)設備については、次のとおりとする。

空調調和設備は、単一ダクト方式とする。

エレベーターは、利用者用・乗用1基（ロープ式・15人乗）サービス用・人荷用1基（ロープ式・9人乗）を設ける。

#### 3. その他の屋外施設等

(1)体験広場を次のとおり設ける。

地域に開かれた広場とし、まとまった150㎡以上（ピロティ・上部の屋根・庇がある部分は不算入）のスペースを地上に設ける。また、体験普及室と一体的に利用できるものとし、イベント時の搬入用トラックが停車できるものとする。

(2)駐車場は、平面駐車とし、車いす利用者用として2台分、サービス用として2台分設ける。

(3)駐輪場は、利用者用として10台分設ける。

(4)ごみ置場（約5㎡）を設ける。

(5)敷地内の通路に設けるスロープは、幅を1.5m以上、勾配を1/15以下とする。

(6)(1)～(5)の「その他の屋外施設等」は、床面積に算入しないものとする。

#### 4. 所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	特記事項
建築普及教育部門	体験普及室	約 240 ㎡	・DIY・左官・トンカチ・コンクリート実験の各コーナーを設ける。 ・コンクリート実験コーナーには、破壊検査機を設置する。 ・更衣室（男女別）を設ける。 ・技師控室を設ける。 ・体験広場から直接出入りできるものとする。 ・アトリウムに面し、直接出入りできるものとする。
	展示普及室	約 170 ㎡	・建設リサイクルコーナー・建物を地震から守るコーナー・デジタル建設工房を設ける。 ・地階免震ピットへの見学用出入口を設ける。 ・アトリウムから直接出入りできるものとする。
	自主勉強室	計約 125 ㎡	・主に建築士試験の受験生が利用する。 ・約25㎡を5室設ける。
	講義室	約 100㎡	・可動間仕切りにより2室に分割できるものとする。 ・プロジェクター用スクリーンを設置する。
	専門図書室	約 130㎡	・貸出カウンターを兼ねた作業室を設ける。 ・アトリウムの様子が見えるものとする。 ・情報検索コーナーを設ける。
	コピー室	適宜	
	お茶室	適宜	
	準備室	適宜	・講義室に隣接させる。
	講師控室	計約 30㎡	・（P）・（G）の2室を設ける。
	コミュニティ部門	フィットネススタジオ	約 200㎡
更衣室		計約 30㎡	・男女別に設ける。
浴室		計約 100㎡	・男女別に設ける。
一般図書室		約 130㎡	・貸出カウンターを兼ねた作業室を設ける。 ・アトリウムの様子が見えるものとする。 ・レファレンスコーナーを設ける。
共用管理部門	アトリウム	約 320㎡	・ガラス屋根をもつ3層吹抜けの無柱空間とし、ブリッジを設けるものとする。 ・オリエンテーション液晶パネル（4m×2m）を各階から見える位置に設ける。 ・市役所前広場からもアプローチできるように計画する。 ・風除室を設ける。 ・作品展示ギャラリー（約20㎡）を設ける。 ・模型（4m×5m×H10m）展示コーナーを設ける。
	ラウンジ(1)	約 30 ㎡	・自主勉強室に近接する。 ・自動販売機を設置する。 ・アトリウムを見下ろせるものとする。
	ラウンジ(2)	約 40 ㎡	・浴室に近接する。 ・豊コーナーを設ける。 ・アトリウムを見下ろせるものとする。
	建前喫茶	約 100 ㎡	・オリエンテーションパネルが見えるものとする。 ・外部からも直接アプローチできるものとする。 ・厨房、従業員用便所を設ける。
	事務室	約 50㎡	・施設全体を管理する。
	インフォメーションカウンター	適宜	・アトリウムに隣接させる。
	倉庫	適宜	・展示普及室用とする。
	便所	適宜	・各階に設ける。 ・車いす利用者にも対応した多機能便所を併用する。
	電気・機械室	約 400㎡	・地階に設け、ドライエリアを付設する。

(注)上記の床面積の合計（地階及び適宜を除く。）は、約1,795㎡となる。

### 要求図面等

設計製図の答案用紙の定められた枠内（寸法線は枠外でもよい）に、黒鉛筆を用いて記入する。

#### 1. 要求図面

下表により、所定の図面を作成し（フリーハンドでもよい）、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 1/200	建築物の主要寸法（柱割り及び床面積の計算に必要な程度）を記入する。 室名等を記入する。 ダクトスペース、パイプシャフト、煙突の位置を図示し、それぞれDS、PS、煙突と記入する。
(2)2階平面図 1/200	1階平面図兼配置図には、次のものを図示する。 イ．断面図の切断位置 ロ．建築物の主要部分の各出入口
(3)3階平面図 1/200	ハ．体験普及室・展示普及室の各コーナーを点線にて明示する ニ．地下部分（電気・機械室）範囲を点線にて明示する ホ．ドライエリアの位置 ヘ．駐車場（出入口を図示し、台数を記入する） ト．自転車置場（台数を記入する） チ．ごみ置場 ニ．通路・植栽等 体験広場には、面積を記入し、植栽、搬入用トラックスペースを図示する。 地盤面と1階の床高の関係を記入する。（記入例：1FL-100） 体験普及室・展示普及室・フィットネススタジオ・浴室・自主勉強室・講義室・一般図書室・専門図書室・建前喫茶の床面積を記入する。 アトリウムについては、面積を記入し、次のものを図示する。 イ．作品展示ギャラリー ロ．模型展示コーナー ハ．上部ブリッジ位置 直下階の屋根、庇、EXP.J、吹抜けとなる部分がある場合は図示する。
(4)断面図 1/200	切断位置は、アトリウムを含み建築物の立体構成（地上1階から3階）屋根形状及び免震層の形状がわかる断面とする。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、主要な室名を記入する。 断面は、梁、スラブ、基礎を図示する。 模型展示コーナーにあなたが好きな建物の模型の外形を図示する。

#### 2. 面積表

1階～3階の各床面積並びにその合計、及び各階の床面積算定式を記入する。

試験場	受験番号	氏名